

「武居城跡森林公園」整備事業

取組に至る背景・事業の目的

- 武居城は築城年代が知られている中では、諏訪地域では最古の山城で、主郭と五段の帯曲輪が残されている貴重な文化財だが、その存在を知る人は地元住民でも非常に少なくなっている。
- 地域の歴史遺産である古城整備を行うことで、地域住民の関心を「山」に向け、山地に起因する自然災害の防止、森林整備の促進、地域の子どもの木育教育等を推進する。

事業内容

- 城跡の調査と保存
発掘調査：5月13日～17日
武居城発掘調査の結果についての研修会を開催
- 城跡の環境整備
広葉樹・石楠花の植栽、ブドウ・アケビ棚の設置、ベンチ作り、東屋の建設
- 案内標識、説明案内板等設置
歴史を記した案内板の設置、公園内樹木の表示板等設置
- 神宮寺歴史散策マップの作成
5,000部作成し、飲食店・土産店等に設置し、観光客に配布



【 広葉樹、石楠花の植栽作業 】

事業効果

- 地域住民、企業、各種団体等、延べ339人の参加で手作りの森林公園が完成した。
- 作業の合間に参加者に対して、付近の森林整備状況や山地災害の発生状況を説明し、山への関心や森林の重要性についての意識向上を図ることができた。
- 森林公園の完成により、住民、子どもたちを対象とした「木育教育」の活動の場が広がり、今後の幅広い活用が期待できる。
- 歴史散策マップが好評で、施設からの追加配布の要望が多く、周辺の観光振興にも波及することができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 山や森林に対して、区民・関係団体に関心を寄せてもらうため、事業にできるだけ多くの参加ができるように作業計画を立案した。また、区民への回覧、各種団体への参加呼びかけ、組合広報誌での事業紹介を積極的に行うことで、多くの方に参加していただき、それぞれの立場、専門分野で知恵を出し合い、想定以上の成果を上げることができた。
- 山城なので、東屋建設資材や植栽木、看板等は、道路から地域住民・各種団体等の皆さんの人力で現場まで引き上げ、大変苦労して作業が行われた。
- 作業中地元の方から「今まで武居城跡への道を尋ねられてもはっきり答えられなかった。今後は自信をもって案内ができます。」と声をかけていただいた。

【選定のポイント】

地域住民、地元企業、地区内各種団体が協働で公園整備を行い、地域の里山の維持管理を行う団体が組織され、良好な維持管理と活用が期待できる。

団体名	神宮寺生産森林組合（諏訪市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	諏訪市中洲神宮寺1677	事業費	1,867,913円
	電話 0266-58-9154（小林利行）	支援金額	1,288,000円